

早蕨

株式会社 さわらび

さわらびニュース

2013年
1月1日発行号



本社 千葉県鴨川市金束781
TEL.04-7098-1181(代表)
FAX.04-7098-0517
http://www.sawarabi.com
Eメールinfo@sawarabi.com

vol. 16

編集 編集長 藤井 浩一
編集委員 野村 祥生 荒井 祐司



CLOSE UP さわらびを支えて頂いた方々〈第8話〉

「もう一度、花いっぱい」

ポピーの里 館山ファミリーパーク

支配人 佐久間 明彦様

昨年4月より館山ファミリーパークの支配人を仰せつかりました、佐久間明彦と申します。

私とさわらびさんの出会いは、まだファミリーパークの経営者が西山興業(株)だった時代に遡ります。当時は日本中が好景気に沸き、物が飛ぶように売れた時代でした。それだけに、お土産売店には様々な業者が入り、さながら縄張り争いの様相を呈してしまい、まとまりに欠けるのが悩みの種でした。

当時のファミリーパークといえば、お花の育成力にかけては群を抜いていたのですが、残念ながら販売部門に関してのノウハウを持ち合わせてはいなかったのです。そこで、いつも相談に乗っていただいたのが上條専務でした。

「お土産売店に統一性をもたせたい」という私の意向に、本社は難色を示しましたが、上條専務の手腕に信頼を置き、きっと良い結果をもたらしてくれるであろうことを説明したところ、最終的にはお任せすることを承諾してくれました。

また、平成12年に私が一度退職した際には、さわらびさん上條マル子社長の主催で、送別会を催してくださいました。そこで頂いた皆様からの寄せ書きは、今も大事な宝物として書斎に飾らせていただいております。最後に全員で合唱した「花」の歌詞には随分と勇気付けられ、心細かった再出発に花を添えていただいた心境でした。退職した後も、上條マル子社長にはなにかと気にかけて頂き、人の縁を大事にする「さわらび流」のお心遣いに改めて感動しました。

そして、ファミリーパークの経営が、(株)オーシャンヴェール館山さんから、さわらびさんに受け継がれるということで、上條専務より「もう一度、お花が咲き誇るファミリーパークに戻してほしい」という旨の打診を受けました。

正直、戻ることには迷いが無かったと言えば嘘になりますが、何度も足を運んでくださり、ファミリーパーク再生に熱意を燃やす上條専務の熱い思いに、以前、ファミリーパークに籍を置いていた一員として胸をうたれ、戻る決意を固めました。

まずはその主旨に賛同してくれるであろう、同士の顔が浮かびました。ファミリーパークの隅から隅までを知り尽くした、歴代の面々です。私と同じ、ファミリーパークに愛着がある彼らは快く応じてくれました。

久しぶりに顔を合わす面々や、初めての面々に囲まれ、赴任してまず気が付いたことといえば、事業運営が不振におちいった要因はもちろん、時流によるところも大きいですが、決して「人」のせいばかりではない、ということです。かけるべき所に手と資金をかけてあげれば、事業運営が傾くことは無かったはず。残った従業員一人ひとりがアイディアマンで、業績を再生することが可能な力を備えているのです。「企業は人だ」がモットーの上條専務は、そこを見抜いていたのでしょうか。となれば、あとは園内の整備です。まずは老朽化が著しい箇所の修繕。お客様が怪我をされるような危惧のある箇所をピックアップし、改善できる箇所は改善し、大規模な修繕を要する箇所は使用を中断しました。また、新たな試みとして園内導線の整備、ホワイトガーデンの新設、バラのトンネルの新設、昨今の需要を踏まえ、ドッグランの増設などを行ってきました。これまで、設備投資にだいぶ資金を要してきましたが、12月からは、いよいよ暑い夏を乗り越え育苗された「ポピー」を前面に打ち出し、「ポピーの里・館山ファミリーパーク」の本領が発揮され、攻勢にうって出る番です。販売部門においても、これまで初年度ということで手探りの中、試行錯誤を重ねてきましたが、ようやく一つの形が見えつつあります。

まだまだ課題は山積しておりますが、「1年中お花が咲き誇るファミリーパーク」を目指して、思いを同じにする社員の皆さんと共に夢を叶えるべく、邁進する所存でございます。

■プロフィール 昭和56年 館山ファミリーパーク入社
昭和60年 支配人就任
昭和20年生まれ 平成12年 退社
平成24年4月 泊ピーの里館山ファミリーパーク支配人就任



ありがとうございます



(株)オーシャンヴェール館山の内田相談役より、4月からさわらびがファミリーパークを受けて欲しいという話をいただきました時、まず一番に頭に浮かんだのが、佐久間支配人でした。佐久間支配人に受けていただけなかったら、この話はなかったことでした。私も、4月からファミリーパークがクローズすることは、どうしても避けたいことでした。私自身ファミリーパークに対して、深い深い思いがありましたから、佐久間支配人を受けていただいてありがとうございました。花いっぱいのポピー畑が楽しみです。

学び その8

人との出会い、
そして別れ。
この行間に人としての
価値が生まれる

